令和7年度第1回蟹江町総合教育会議 議事録

開催日時	令和7年8月6日(木) 午前9時00分～10時00分
場 所	蟹江中央公民館 第3会議室
出席者等	町長部局：横江町長、政策推進室長、同課主事 教育委員会：教育長、佐藤委員、高阪委員、伊藤委員、教育部次長、教育課長、同課主幹
報告者	政策推進室政策推進課
傍聴者	なし

○開会

1 あいさつ

(町長)

おはようございます。毎日暑い日が続いておりますが、お体の調子はいかがでしょう。令和7年度第1回蟹江町総合教育会議ということで、町長部局、教育委員会の考え方等々含めて情報共有という重要な会議であります。短い時間ではございますがよろしくお願ひします。今朝、登庁してテレビを観ていました。今日は広島平和記念式典が開催され、蟹江町の中学生代表が昨日から広島に行っています。こどもたちの挨拶を見ていてすごいな、日本はまだこの先行けるなと感心しました。私も6期目を迎えさせていただき、何に力を入れるか、何を目的にするかを明確に表させていただき、職員と一緒に頑張ってまちづくりをしていきたいと考えていますのでどうぞよろしくお願ひします。

(教育長)

改めましておはようございます。今年度から新中学校1年生がブレザーで登校しています。入学式では女子中学生でスラックスの子が両中学校で数名いました。夏服になってあまり見る機会がなかったのですが、先日、読谷村中学生派遣事業の面接に夏服の制服で来ました。先週の金曜日に結団式があり、午後から当日発表する資料作りをしていたのですが、しっかりした子が多く、作文も町長からお褒めの言葉をいただきました。楽しみにしています。中学校体育館の空調の工事を学校祭が終わったタイミングからスタートします。教諭の働き方改革について、事務仕事が忙しい時期、年度当初の4月、10日間ほどですが、交通安全も含め、小学校1年生から中学校3年生まですべて5時間で終わって下校しています。部活動は中学校の勤務時間内でないと活動ができないので、部活の時間を確保できるように校長会で相談しながらやっています。文部科学省から総時間数の話が出てきて、それをきちんと守ればという話ですから、事務整理で大変な3学期最後も5時間にしてやったらどうかということを校長会で相談をしながら進めたいと思っています。今年度からスクールソーシャルワーカーを2人にさせていただき、相談が充実できていますし、幼稚園、保育園の幼児教育と小学校教育のつながりを国から働きかけをされています。なかなか現場で進んでいないので教育委員会ががんばりなさいということもあり、明後日、指導員と教育課主幹が連絡をとっていただきながら、保育園の所長、小中学校で2人集まっていただき、幼児教育から小学校教育に上がるところをスムーズにやれる方法を検討します。限られた時間ですが、いろいろな意見を出していただいて、蟹江町の教育が良い方向へ進むようお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。

2 報告事項

(1) 広島平和記念式典中学生派遣事業について

(政策推進課長)

令和7年度広島平和記念式典中学生派遣事業について、今年も広島平和記念式典に参列するため、8月5日(火)、6日(水)の1泊2日で、蟹江中学校、蟹江北中学校から合計10名の代表生徒を派遣しております。先ほど町長の話にもありましたとおり、今朝に開催している式典に代表生徒が参列しています。今年は戦後80年ということで、広島でもこの平和記念式典を柱に平和文化の振興に取り組みされており、代表生徒たちは式典参列の他、広島平和記念資料館の見学や同世代の生徒たちと平和について学ぶ研修会などに参加し、戦争の悲惨さと命の大切さを学んでいただいております。今後、代表生徒には、今回の平和記念式典派遣事業で学んだことをそれぞれの学校で報告してもらうとともに、9月6日(土)産業文化会館で一般住民を対象に開催する平和リレートーク事業で報告していただく予定であります。

(2) セントレア親子サマースクールについて

(政策推進課長)

小学校3年生から6年生までを対象に8月4日(月)に、中部国際空港株式会社の協力のもと、セントレアにおいて、小学生とその保護者が、世界とつながる空港の仕事について学ぶ親子サマースクールを開催しています。今回は、空港を陰で支えている税関や海上保安庁の仕事を学び、見学や体験ができるコースを午前午後の2回開催しています。広報や対象児童あてにチラシなど学校を通じて配布し、海部地区から40組の親子が参加しております。蟹江町からは6組の方が当選されてこちらの事業に参加されております。

(3) まちづくりミーティングについて

(政策推進課長)

今年は中学校体育館の空調工事の関係で教育課にご協力をいただいております。蟹江中学校は2年生を対象に11月26日(水)に蟹江中学校または武道館で開催を考えています。蟹江北中学校で、年明け1月頃に体育館で同じく中学2年生を対象に、生徒たちと町長が直接、蟹江町の将来について意見交換する、まちづくりミーティングを開催したいと考えています。

(4) 姉妹都市交流事業について

(政策推進課長)

平成22年3月26日に米国イリノイ州マリオン市と姉妹都市提携を結び今年で15周年を迎えました。マリオン市から派遣団を町として歓待するとともに各種交流を通じて異文化、異国に対する理解を深めて参りたいと思います。昨年は蟹江町から7名の生徒を派遣しております。今年10月16日(木)から22日(水)の期間でマリオン市から8名の学生を受け入れる予定で現在準備しております。今回も蟹江中学校での学校体験や舟入小学校の見学をプログラムに入れながら生徒同士の交流を通じて、コミュニケーション能力を高め異文化に対する理解を深めたいと考えております。また昨年マリオン市に行った3組のご家族がホストファミリーに手を挙げていただきました。こういった相互交流が深まっていくことを事務局としては期待しております。10月18日(土)午後4時半から産業文化会館でウェルカムパーティー

ィー（15周年イベント）を考えておりますので委員の皆様にはぜひご出席をお願いしたいと思います。

3 議題

(1) 教育委員会の主な予算について

(教育課長)

施設整備事業について、小学校は学戸小学校屋上防水等改修工事が現在始まっています。築 45 年が経過しており、校舎屋上防水及び軒下コンクリートの亀裂があり、それに伴って屋根防水と周辺整備を行っていきたくと思います。メイン工事は夏休み期間で 2 学期以降の学校行事に影響がないように最小限に進めていきたくと考えております。続いて中学校は蟹江中学校・蟹江北中学校体育館空調機器設置工事でございます。空調設置をして生徒の学びの環境を整えることに併せ、災害時に停電となった際にも、自立運転が可能な手法を模索し、避難所機能の向上を進めていきます。こちらの工事は先ほど教育長も言いましたが、文化祭等学校行事もございますので、そちらが終了した段階から工事を進めていきたくと思います。工事の完了期間は 1 月末を予定しております。課題になりますが、小学校体育館の空調機器設置工事設計業務を実施する予定で次年度以降の工事着手を目指していきたくと考えています。

学校教育支援事業について、令和 4 年度から配置しておりますスクールソーシャルワーカーの配置事業は、1 名から 2 名への増員になります。校務支援機器借上は先生が利用する校務パソコンの入れ替えになります。教員の業務改善につながるよう進めていきたくと思っています。小学校及び中学校のスクールサポーター事業につきましては児童生徒の数を確認しながら配置基準、必要数を配置しております。特別な支援が必要な児童生徒に対する指導補助や外国籍を持つ児童生徒の日本語指導を継続していきたくと考えております。昨年度から対応しております医療ケアが必要な児童については専任の看護師、担任及び学校と保護者においてしっかり連携がとれておりますので問題なく登校することができています。

外国語指導助手（ALT）派遣事業について、小学校 2 名、中学校 1 名、合計 3 名の体制で進めております。児童生徒がネイティブの英語に触れることができる時間を多くしてございます。今年度から業者が新たに変更になりましたが、今まで大きな混乱もなく進めてきております。記載はありませんが、光熱費の経費を削減するため、すべての小中学校の照明を LED 照明に切り替えを現在実施しているところです。8 月末には特別教室を含め切り替えになります。

(教育部次長)

次に給食センター関係について、食器更新になります。使用開始から 9 年が経過する給食用食器があり、昨年度 2 種類更新したため、残り 2 種類更新をさせていただき、こどもたちに安心安全な給食提供に努めたいと思っております。給食賄材料費について、本来ですと保護者負担金が充てられる金額になりますが、昨今の物価高騰が続いているので、給食単価の改定は行ったものの上乗せ分は保護者負担の増ではなく公費で賄っており、昨年度に引き続き 70 円の公費負担をしています。それに加えて 1 学期間につきましては交付金を活用させていただいて、保護者の負担をさらに半額にさせていただいているところです。こちらを活用し児童生徒が必要な栄養を摂取できるように進めているところです。フードスライサー購入について、こちらは前の給食センターでずっと使っていたもので、2 台あり昨年度と今年度で 1 台ずつ更新をさせていただき安心安全な給食を提供できるように努めてまいります。

続いて生涯学習課関係になります。生涯学習フェスティバルについて、これまで 7 月に生涯学習まちづくり推進町民大会、秋に文化祭を行っていましたが、この 2 つのイベントを融合し一体的に実施して

いきます。生涯学習まちづくり推進町民大会がなかなか集客につながらないということで、教育委員の皆様にも苦慮していただいています。秋に行う生涯学習フェスティバルの形を変えて、年齢や性別の枠を超えて自己啓発に努め日頃の成果を披露できる場として実施できるよう担当課が準備を進めているところです。部活動地域移行関連について、こちら皆様にも気を掛けていただいているのですが、昨年度、委員会を立ち上げ、委員の皆様とどのように蟹江町としていけばいいか議論してまいりました。結果、来月からになりますが、実証実験事業として剣道部を1か月2回活動するというので進めていきます。さらに今年度についてはそれ以外の部活についてもできるように、昨年度、1月から部活動地域コーディネーターに校長先生のご経験のあるOBの方になっていただいて、両中学校に何度も足を運んでいただき、検討を進めていただいているところです。学校と地域の動きを見ながら順番に進めていきたいと思っています。最後に図書館関係です。昨年度、第2次子ども読書活動推進計画を策定しました。保護者や子どもたちからのアンケートを取ったのですが、結果として不読書率がすごく高く、良くない結果になっているので、図書館と学校で連携しながら原因を探っていききたいと思います。学校には図書館システムを導入しており、毎年大きなお金が動いているのでこれを活用しながら、図書館と教育課で連携しながらできる何かを模索しながら進めていきたいと思っています。

(2) 町立小中学校における現況について

(教育部主幹)

令和7年度学校教育等に関する行事・事業一覧の4月から8月についてです。学校行事について、新型コロナウイルス感染症を経て、行事の見直しがなされ、新たな学校様式としても行事が順調に実施されています。学校訪問ですが、昨年度同様に今年度も予定通り行うことができています。先生方の指導の下に一生懸命学習に取り組んでいる子どもたちの様子がわかりました。タブレットなどのICT機器やさまざまな教材機器などを効果的に取り入れた令和の学校教育の授業が各学校で見られました。今後も子どもたちの様子を掴むために学校訪問を継続していきたいと思っています。教育委員会議ですが、4月から始まりまして、本日もこの後、予定どおり行われます。諸会議について、海部地方教育事務協議会が4月と6月に1回ずつ行われました。また先月7月15日(火)に海部南部教育委員会研修協議会が開催されました。町校長・教頭会議ですが、4月から7月まで計4回の会議が行われました。

次に生徒指導上の諸問題に関する調査結果について、暴力行為の発生件数ですが、令和5年度に比べ小学校、中学校ともに生徒間暴力の数が増加しております。特に、年度初めの報告数が非常に多くを占めており、学期初めに新たな人間関係の中でちょっとしたトラブルから、かっとなり手を出す事案が多い傾向があります。いじめの発生件数ですが、令和6年度は小学校で27件、中学校で5件となっております。いじめと疑わしいものはすべて報告してもらうようにしているため、数字としては令和に入ってから増えてきております。この流れは文部科学省や愛知県の方針が基となっており、令和になってから発生件数が増加していますが、いまのところほとんどの案件は解決の方向へと進んでおります。いじめの解消まで至らなかった件についても、今年度も引き続いて対応を進めております。不登校の発生件数ですが、小学校は1,737名の内53名、全体の約3.05%、中学校は約912名の内64名、約7.02%が不登校です。昨年度と比較すると小中学校共に不登校数が増加しています。小学校は特に高学年で割合が上昇しており、中学校でも学年が上がる毎に割合が高く、女子児童生徒が多いのが蟹江町の特徴となっております。

携帯電話所有状況と利用状況調べについてですが、学年が上がるにつれて所有率が上がっていること

がわかります。小学1年生でも17%の所有率があることがわかります。また、自分専用の携帯電話を持っている児童生徒に聞いてくださいという質問に、SNSと電話の機能を両方使う割合は学年が上がるにつれて多くなってきています。自分専用のSNS機器を所有している人数は、パソコンやスマートフォンなどといったものをすべて含めておりますので、これも学年が上がるにつれて同じように所有率と使用率が上がっていることが分かってきております。保護者からの申し出を得て、学校に携帯電話、スマートフォンを持ってくることが許可している児童生徒数は、特殊な家庭事情で連絡を取らなければならない場合、防犯上のみ学校が許可をしていますが、ほとんど該当者は上がっておりません。

ひとり親の家庭数調査ですが、今年度の数字は昨年度に比べて横ばいになっていて、1割程度がひとり親の家庭であることが分かります。

自分専用の携帯電話を使っている生徒の使用時間は、2時間以上となっている子が小学校高学年では50%以上、中学生では60%以上と学年が上がるにつれて使用する総時間が増加していることがわかります。

3 その他

特にありません

4 意見交換

(佐藤委員)

今年度から中学校体育館のエアコンをようやくありがとうございます。小学校が来年、再来年になりますか。

(町長)

設計もできていますのでいつでもできるのですが、あとは予算の関係だけです。JR蟹江駅の跨線橋の撤去もやらなければならないので、2億7千万円と3億近くかかります。交付金を取りに行っています。多分今月中旬に答えが出るだろうと思います。私も内閣府に直接お願いしに行き、修正を加え、再度お願いにも伺っています。町の体育館を早く空調設備を設置してほしいと言われているのですが、予算のやりくりの中でやっていけるかなと思っています。もう1つ予算がかかるのは火葬場です。舟入の火葬場の建て替えと、浄化装置の関係を合わせて4億程度かかります。それと同時に道路も整備します。また、学戸小学校の屋上防水改修をすることになりました。都市計画税がなかったら蟹江町はこの先何もやれていないと思います。教育にも力を入れていきたいと思っています。

(佐藤委員)

6月の暑い日に学校に行かせていただいて、特別教室の空調設備が手付かずでサウナの中で勉強をしていると感じました。時間はかかると思いますが、なるべく早く進めていただきたいと思っています。

(教育部次長)

理科室、家庭科室、美術室、7校で30室弱が付いていないです。

(高阪委員)

付いている部屋で代わりにできないのですか。

(教育部次長)

理科の先生に聞いてみたところ、教材を持っていかないといけないことや理科室は若干広いという理由で他の教室で行うことは難しいそうです。理科室は使用する頻度が高いので、声掛けをしながら、生徒の体調に注視しながら、授業を行っているので大変そうです。

(高阪委員)

部活動地域移行に320万円ほど使われていますが剣道部だけのためですか。また剣道を指導していただいている方に指導料は支払われていますか。1つの部活動にいくらかかって指導料の予算だけでどれぐらい必要か、320万×部活動の数なのか心配になりました。

(教育部次長)

人件費が270万円ぐらいでそれ以外が地域移行の実証実験にかかるものです。今年、来年までは補助があります。今は補助がありますが、再来年以降は保護者負担の設定を全額ではないですが考えています。

(教育長)

県から国のほうへ補助を付けてもらいたいとお願いはしているので、全く何もということはないと思うのですが、受益者負担をどうしていくのか検討が必要になります。国がまだ方針を出していないのでそれを早く示してくれないと各自治体は進めないという声があります。

(高阪委員)

受益者負担は仕方なく、保護者の声を聞いていても習い事にもお金がかかるのだから、習い事の代わりである部活動への月謝等に保護者の方も理解をしてくださると思います。そして給食費も払ってくれると思います。払わないのが当然と聞こえてくると勘違いする人はいると思いますが、世の中の物価が上がっているのは保護者も分かっているので、本当にあの金額で大丈夫なのと心配されている方もいます。

(町長)

給食費のことですが、70円補助がどこまでできるかわかりませんが、1学期は半額補助を実施しました。また、当町は今頑張っていますけれど、水道料金も非常に厳しい状況です。3期半年間基本料金を無料にしました。そのときも歳入不足が1億6千万円ありました。老朽化が進行して修繕を行うとなると億単位のお金がかかります。企業会計ですので、一般会計から出すわけにはいきません。起債といって借金をしますが、金利があがってくると金利を払うための予算も組まないといけないので水道は厳しい状況です。

(高阪委員)

家庭への措置があるので理解が得られると思います。学校図書館システムも多額のお金を使って、充実させているのもっと良い効果があるといいですが、もったいないなと思います。私も本が大好きだったので大きくなるにつれて小学校の頃、本を読んでいたのは良かったとレポート提出の際に感じます。小学生が活字離れをしているのは何とかしたいけれど、お金だけではなくマンパワーも必要だと思うので、本好きな人を巻き込んで司書のような本を勧めてくれる人がいるといいかと思います。

(教育部次長)

各学校に司書を配置できていればいいのですが、システムを入れたことで学校の図書の管理はすごくしやすくなったという効果はあります。子どもにとってはまだ十分ではないと思うので、今後も検討をしたいと思います。

(高阪委員)

もっと本を読んでもらえると良いです。

(伊藤委員)

小学校に配置されていた冷凍庫を中学校にも設置して対応して下さりありがとうございました。校

内教育支援センター、スクールサポーターを各中学校に配置していただき、こぼれ落ちない教育ということで目線をおいてくださっていることが本当にありがたいです。こどもたちの不登校が多くなる中でこども10人いたら10通りあるように難しいと思います。教育長が小学校から中学校へという流れが1人の人が進んでいく道なので、なるべくつながりがある教育という形で内容も濃くしていただきたい中で、こども福祉課や教育課と課が変わってしまうと組織の中で連携が難しいという話を聞いたことがあります。こどもや親にとってより良い形で引き継ぎができるように、期待をしています。行政は大きいことが目に付くということで、細かいことは私たち保護者やこどもの視線だったりするので、教育委員で指し示していければいいかと思います。また気づいたことがあれば意見させていただければいいなと思います。

(教育長)

現在、国が目指していることもやろうと思うとすぐにはハードルが高く、1つの幼稚園、保育所から、すべての児童が同じ小学校に行くわけではありません。他の自治体にまたがることもあるのでどう共通認識をお互い持つか、ずっと蟹江町に住んでいただきたいので思いを共有して進めていければと思います。

(町長)

公務員の組織は仕方ないですが、教育委員会だけは議員の経験上、独立すべきだと思いますし、かといって町長部局が口を出せないということを経験していましたが、私が町長をやらせていただいて、教育委員会と道路はつながってなくても橋を渡していければいいよねという話をしました。だからたくさん橋をかけることによって情報の共有ができていると思います。私が20年間町長をやってきて、自分たちだけのことを考えていればそのまちはいいかもしれませんが、いざ何かやろうと思った時には他の自治体とはかけ離れたところにいるのではないかという妄想にかられたこともあります。いろいろなところに窓口を作って皆さんに指示を出す、ここまでやってこられたと思います。これがいいかどうかはわかりませんが、ALTやスクールサポーターの問題、他の地域以上のことはできればやってあげたらどうですかという提案は歴代の教育長にはずっと言ってきました。まだまだ足りないことはあるとは思いますが総合教育会議の中で新たな案が浮かべば皆さんと共有したいと思いますのでよろしくお願ひしたいと思います。